

The Mercury News

Deal struck to tear down 106-foot dam; would be largest dam removal in California

協議は、106 フィートのダムを取り壊すことになった；カリフォルニアで最も大きなダムの撤去であるであろう。

[By Paul Rogers](#)

progers@mercurynews.com

Posted: 01/11/2010 06:21:08 PM PST

Updated: 01/12/2010 11:44:11 AM PST

カリフォルニアでこれまでに完成した最も大きなダム除去プロジェクトであるかもしれないものとして、政府高官と Monterey の水道会社は、月曜日に高さ 106 フィートの San Clemente ダムを撤去することに合意した。動きは、数十年の間それらが Carmel River の上流の時代遅れのコンクリート建造物によって産卵場所から遮断されている危惧種のスチールヘッドトラウト（北米産の大きな降海型のニジマス（「広辞苑」から））のための勝利である。

月曜日に署名された合意書は 10 年を超える研究と討論を終えて、8400 万ドルのプロジェクトに動きを与える。ダム閉鎖—格別の工学と生物学の事業—は、米国中で科学者と水管理者によって注目されることが予想されている。

「私達がここでしていることは本当に全国的な意義をもっている」と、少年期に Carmel River で魚釣りをした米国下院議員（民主党 Salinas 選出）の Sam Farr は言った。「私達は、今後難しい数日を過ごそうとしている。しかし、それは、するべき正しいことであり、私達は、それをやり遂げようとしている」。

1921 年に築かれて、San Clemente ダムはかつて Monterey 半島の周辺で数千人の人々のための飲料水を貯留した。それはゴルフコースを灌漑し、イワシ缶詰工場を活発に操業させることに役立っていた。

しかし、今日その貯水池は、砂と泥によって閉塞され、90 パーセント以上が堆砂している。そして、ダムは電気または洪水防御を提供していない。

「1921 年において、このダムは工学の驚異であった。それはその目的を果たし、その有用性は私達にとって時代遅れになっている。」と California American Water Co.（それはダムを所有している）の社長の Rob MacLean（カリフォルニアアメリカ人水社の社長）は言った。

州のダム検査官は、主要な地震による崩壊のリスクによって、それは安全でないと 1991 年に宣言した。それは Cal Am に 2 つの選択肢を残した：それを補強すること（現在 5000 万ドルのコストと見積もられてる）、または、8400 万ドルでそれを撤去すること。

コストがより安かったので数年の間それを修理することに傾いた後に、2008 年に、水道会社は、構造物を撤去するであろうということを発表した。しかし、昨春に、それは方針を変更し、貧弱な州予算と信頼性への疑問が撤去を実行不可能にしたと述べた。

長期的な戦いが、高額な訴訟に関係する可能性があり、気味悪く迫った。National Marine Fisheries Service は、スチールヘッドトラウト(連邦の Endangered Species(絶滅危惧種保護法)によって保護された銀白の魚)のためにダムが上流への遡上を妨げるので、それは修復工事のための許可証を出す可能性がないと伝えていた。

「私達は、Cal Am に、ダムを補強するプロジェクトが魚類を絶滅させることを結果として生じる可能性があるであろうと言っていた。」と Carmel 川のスチールヘッドの数に言及して、Fisheries Service の中央沿岸の沿岸監督者の Joyce Ambrosius は言った。

Cal Am が新しい社長を任命した後に、難局は解消し、Farr(彼の選挙区は Monterey、Santa Cruz および San Benito の郡を含む)は、撤去についての彼の支援を更新した。

月曜日の協定の下で、Cal Am は、Monterey 郡でのその 110,000 人の水受給者への料率を上げることによって 5000 万ドルを提供するであろう。Oakland の California Coastal Conservancy(カリフォルニア海岸管理委員会)によって指導される連邦と州の機関は、残りの 3400 万ドルを確保するために働くであろう。

Sam Schuchat (Coastal Conservancy の行政官)は、彼が、既存の州のボンド、連邦の補助金、および民間の基金から資金を採ることを予定していると言った。

生物学者は Carmel 川を、その数が減少しているが産卵のために毎年戻って来ている 400 から 800 尾のスチールヘッドを持っているため、ロサンゼルスとサンフランシスコの間のスチールヘッドの遡上の最も多いものの 1 つと考えている。ダムの除去はこの川の 25 マイルを開放するであろう。

月曜日の計画の下では、Carmel 川はダムのまわりで半マイルについて流路変更されるであろうし、ダムは撤去されるであろうし、堆積物は大きな岩石によって保持され現地に残されるであろう。その方法で、250,000 台のダンプカーを満たすであろうがれきは、運搬され去る必要がないであろう。川を流路変更する水路の建設は、2013 年に開始されるであろうし、その 3 年後にプロジェクトが完成するであろう。

カリフォルニアでかつて除去された最も大きなダムは、それが堆積物でふさがった後の、1070 年の Eureka 近くの 55 フィートの Sweasey ダムであった。たいてい 10 フィート程度の高さの、カリフォルニアの約 50 基のより小さなダムがこの 20 年で撤去されている。Ventura 郡の 165 フィートの Matilija ダム (これもまた堆砂でふさがれていた) を撤去するための 1 億 5000 万ドルのプロジェクトは、2004 年に郡の役人によって承認されたが、資金の不足のためまだ実施されていない。

問題は、どの機関が、最初に、許可と資金を得るであろうかである。

「それは、あなたが利益を提供しないダムを持っている時に、当然のことである。」と、サクラメントの環境グループである、Friends of the River の保全部長の Steve Evans は言った。「しかし、これらのプロジェクトは、いくらかのコンクリートを取り壊すより少しより複雑である」。